

ゆ め づ く い
事 例 集



2021

編集：呉市

「ゆめづくり事例集2021」を作成しました。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止になりましたが、その中でも、地域の皆さんが感染拡大防止策を講じ、例年以上に工夫を施すことで実施された事業もあります。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧ください、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

ゆめづくり事例集2021目次

No	事業名	団体名
1	昔遊び・餅つきで育む 地域・世代間交流フェスタ	第2まちづくり委員会
2	第3地区ふれあいラジオ体操	第3地区まちづくり委員会
3	防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
4	荘山田村自然公園プロジェクト	第6地区まちづくり委員会
5	第6地区敬老会	呉市第6地区社会福祉協議会
6	2021 くれ中央 秋のこどもまつり	くれ中央地区まちづくり委員会
7	ふれあいサロン事業	第8地区まちづくり委員会
8	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）	ふれあい広場三条の会
9	地域住民・両城小学校生徒徒合同防災訓練	三条地区自主防災会連合会
10	川原石地区合同防災訓練	川原石地区まちづくり委員会
11	絵本の読み聞かせ活動	どんぐりぼーやの絵本会
12	吉川英治文学碑記念祭	警固屋まちづくり協議会
13	農業体験交流事業	警固屋まちづくり協議会
14	音戸大橋開通60周年還暦記念祭	音戸大橋開通60周年還暦記念祭実行委員会
15	第73回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
16	ひろ「もち」だんらん祭り	広まちづくり推進協議会
17	宮原ホタルの里解放事業・ホタル育成事業	宮原地区まちづくり推進委員会
18	みんなで防災を考える集いin宮原2021	宮原地区まちづくり推進委員会
19	地域人材活用事業	天応まちづくり委員会
20	青少年健全育成・非行防止標語普及事業	昭和地区青少年補導員連絡協議会

No	事業名	団体名
21	挨拶運動	昭和東女性会
22	クリスマスコンサート	昭和西女性会
23	きよみんコンサート	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会
24	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
25	郷原町花火大会	郷原町まちづくり推進委員会
26	交通安全テント村及び交通安全キャンペーン	下蒲刈地区交通安全推進協議会
27	令和3年度呉市下蒲刈地区成人式	下蒲刈地区自治会連合会
28	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク	呉市川尻町まちづくり委員会
29	令和3年度 川尻町新成人を祝う会	川尻町地区社会福祉協議会
30	音戸ふれあい朝市	音戸町まちづくり協議会
31	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ養成事業	宝島くらはしまちづくり協議会
32	くらはしお宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会（お宝朝市部会）
33	令和3年度蒲刈地区成人式	蒲刈地区自治会連合会
34	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
35	魔法のランプ事業	豊浜町まちづくり協議会
36	農業・漁業体験事業	豊浜町まちづくり協議会
37	ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちよっとてご助成事業	豊浜町まちづくり協議会
38	豊町サプライズ花火（豊町七夕納涼祭代替事業）	豊町まちづくり協議会
39	豊町成人式	豊町まちづくり協議会

※市内で取り組まれたまちづくり活動241件（令和3年度当初件数）のうち、代表的な事業39件を紹介しています。

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	昔遊び・餅つきで育む 地域・世代間交流フェスタ			事業費	160,000円
事業の目的	<p>新型コロナウイルス感染の収束が長引く中，地域住民においては外出する機会が減少し，地域の活気が低迷していることから，地域が元気を取り戻し，地域間での交流の機会を増やそうと，コロナの感染症対策を講じ「地域・世代間交流フェスタ」を実施。</p> <p>今回の企画は，昨年度まで行っていた和庄小学校の児童と地域の大人との交流事業に加え，参加対象を地域住民全員に広げ，事業内容も子どもから大人まで楽しめるものとし，各世代の方々が交流を図ることで地域の活性化の一助になればと考えている。</p>				
事業概要	<p>日時：令和3年12月28日（火）9時00分～12時30分</p> <p>場所：和庄小学校校庭</p> <p>内容：「昔遊び」 ①こま回し ②けん玉 ③お手玉 ④紙ひこうき 「ふれあい餅つき大会」 ①餅つき実技 ②焼き餅 ③ぜんざい ④やきいも ⑤豚汁</p> <p>参加者：約300名（うち，子どもは約160名参加）</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会で企画立案し，準備及び運営は各地区自治会，民生委員・児童委員，女性会，PTA，地域ボランティア等が行った。				
苦労した点	新型コロナウイルス感染症対策				
活動状況	 <p>昔の遊びコーナー</p>		 <p>餅つき大会</p>		
	 <p>お餅づくり</p>		 <p>餅焼き</p>		
活動の成果	<p>当フェスタには，多くの住民の方が参加され，子どもたちは大人から教わる昔遊びを楽しんだり，また，大人たちも餅つきに汗を流し，振る舞われるぜんざい，豚汁などに舌鼓をうち，地域の世代間交流が深まる一日となりました。</p>				

番号	2	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区ふれあいラジオ体操			事業費	約134,000円
事業の目的	第3地区では、第3地区まちづくり基本計画において「ふれあいのあるまちづくりの推進」を指針の一つとして定めており、安全な生活環境の整備はもとより、人と人とのふれあいの場づくりに努めています。夏休み期間を利用し、子どもから大人まで馴染みのある「ラジオ体操」を地区全体で行うことで、地域住民の健康増進とコミュニティの推進を図ることを目的としています。				
事業概要	<p>平成22年から取り組んでおり、今年で12回目にあたります。体操後には、脱水症状予防のためスポーツドリンクとタオルを配布しています。夏休み期間の休日に実施することで、幅広い世代の交流に繋がっています。今年度は公衆衛生推進協議会のクリーンキャンペーン事業の一環として取り組んでおり、ラジオ体操後に地域の清掃活動を実施しました。</p> <p>【日時】 令和3年7月25日（日）7時00分～8時00分 【場所】 本通小学校グラウンド 【参加者】 170名</p>				
企画・実施した人	<p>企画：第3地区まちづくり委員会役員・健康づくり部会 実施：第3地区自治会連合会・第3地区公衆衛生推進協議会・本通小学校</p>				
苦労した点	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、手指消毒の呼びかけや検温の徹底に努めました。また、例年会場として使用していた和庄中学校グラウンドが校舎建替え工事のため使用出来ず、別会場の選定や関係機関との調整に苦労しました。</p>				
活動状況	 <p>検温及び手指消毒の実施</p>		 <p>児童による模範演技</p>		
	 <p>ラジオ体操の様子</p>		 <p>スポーツドリンクとタオルの配布</p>		
活動の成果	<p>新型コロナウイルス感染症により地区行事が軒並み中止となる中、感染防止対策を施し、例年以上に工夫を重ねることで事業実施に結びつけました。本事業を通じて、地域住民の健康増進を図るとともに、今まで当たり前のように捉えていた「地域住民とのふれあい」に対する価値の大切さを再認識することができたと感じています。</p>				

番号	3	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	防災訓練と防災備品整備			事業費	約1,600,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>災害はいつ来るかわからないことから、コロナ禍においても「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を学校区ごとの2ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	荘山田小学校区	明立小学校区		
	日時	令和3年12月22日(水)	令和3年7月19日(月)		
事業概要	場所	荘山田小学校	明立小学校		
	参加者	約60名 自治会長, 女性会役員 民生委員児童委員, 防災リーダー	約40名 自治会長, 女性会役員 民生委員児童委員, 防災リーダー		
	内容	避難所運営訓練とマイ・タイムラインについて			
		<p>・防災用品収納倉庫：H23：4か所新設，1か所改修（旧辰川小体育館下倉庫） H24：5か所新設 H25：2か所新設・1か所共用（4自治会は自治会で倉庫を設置済み），炊き出し用釜2セット購入 H26：炊き出し用釜2セット，大型扇風機10台，発電機2台，会議机29台購入 H27：大型ストーブ4台購入 H28：テント29台購入 H29：リヤカー7台，担架10台，車いす4台，大型扇風機4台購入 R 元：避難所用簡易テント4台，非常食1,000食備蓄 R 2：新型コロナウイルス対策用物品購入（非接触型体温計，消毒用アルコール，アクリルパネルほか） 小型発電機（燃料：ガスボンベ使用） R 3：ソーラーパネル蓄電池4セット，大型扇風機10台，防災用ライト100セット カラーコーン，コーンウェイト100セット，コーンパー60本</p>			
企画・実施した人	まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」が企画し、各学校区ごとに、所属する自治会長が中心となって、会場や物品の準備、当日の運営などを行いました。				
苦労した点	<p>昨年度からコロナ禍での防災訓練ということで、参加人数を限定し、受付方法や会場の配置などにも配慮しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、コロナ禍においてどのように避難所を運営するか、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。</p>				
活動状況					
	検温及び手指消毒の実施		テント設営訓練		
					
	参加者による「ござ」敷き		子どもたちが作った防災グッズの紹介		
活動の成果	<p>毎年、繰り返し防災訓練を実施することで、防災意識の向上につながっています。また、避難所では「お客さん」ではなく、避難者が自ら運営しなければならないという意識づけができました。</p> <p>マイ・タイムラインに関する講話では、災害時にどのような方法で避難するか、自分たちで考えるきっかけづくりができました。</p>				

番号	4	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	荘山田村自然公園プロジェクト			事業費	約120,000円
事業の目的	地域の遊休地整備を行い、かつてどこの地域でもあった「里山」の復活を目指すことで、自然の大切さを地域で共有します。地域の宝として整備した自然公園を大切に、子どもたちに自然を感じてもらいながら、世代間交流を図るとともに、地域に愛着を持ってもらうことを目的としています。				
事業概要	<p>環境保全活動や自然体験活動などを通じ、自然とふれあい、その大切さを地域内で共有する取り組みです。昔は田畑があり手入れされていましたが、遊休地となっている土地を、眺望が素晴らしい隠れた地域の名所として復活させるため、150本ほどの数種類の桜を植え、開花時期の違いから四季を通じて桜を楽しめる自然公園として整備しています。</p> <p>【場 所】 江原地区一体の丘の上 【会 議】 毎月第3木曜日 【現場整備】 毎月第4土曜日午前中 【イベント】 (春) 4月 「里山 春の感謝祭! 2021」 → 87名参加 (秋) 10月 「秋の公園祭! 今年も来るかな? アサギマダラ2021」 → 61名参加 11月 「桜の公園祭! やきいも食べるかい? 2021」 → 86名参加 【広 報】 地域コミュニティ紙「今ドキッかわらばん」に掲載(毎月発行)</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会内の荘山田村自然公園プロジェクトが中心となって企画立案するとともに、社会福祉法人かしの木や事業に賛同する人たちが協力して作業に当たります。賛同する方々には、ボランティア登録をしてもらい、公園整備に参加してもらっています。				
苦労した点	毎月定期的に会議を行い、作業内容等を確認し公園整備を行っていますが、近年はイノシシによる被害が大きくなっています。柵を設置するなど、対策をしております。また、6～9月は炎天下の作業を避けるため、開始時間を早め、作業時間の短縮を行っております。				
活動状況	<p>●自然公園の整備にボランティアの方々と一緒に取り組んでいます。</p>  <p>アサギマダラが今年も飛来しました</p> <p>●春と秋には趣向を凝らしたイベントを開催し、多くの方に参加いただきました。</p>  <p>講師を招いて、アサギマダラ勉強会を実施 マーキング体験 自然の中で食べるやきいも</p>				
活動の成果	<p>フジバカマの植樹面積を拡大し、令和2年度に引き続きアサギマダラの飛来を計画しました。</p> <p>10月には多数のアサギマダラが飛来しました。</p> <p>イベント「秋の公園祭! 今年も来るかな? アサギマダラ2021」では、講師を招きアサギマダラの勉強会とアサギマダラへのマーキングを実施し、幅広い世代の方に楽しんでいただきました。</p>				

番号	5	団体名	呉市第6地区社会福祉協議会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区敬老会			事業費	約400,000円
事業の目的	<p>第6地区では、各種団体の協働の幅を少しずつ増やしなが、ら、敬老者に喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。</p> <p>地元の団体や、学校、社会福祉法人などが協力して手作りの敬老会を開催することにより、お年寄りが喜んでくださるアットホームな行事となり、地域の団結力向上にもつながっています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和3年10月30日(土) 10時～12時30分 ・場所 片山中学校体育館 ・敬老対象者数 605人 ・来場者数 302人 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 式典 ①開会のあいさつ ②国歌・呉市歌静聴 ③物故者への黙祷 ④会長あいさつ ⑤来賓祝辞・紹介 ⑥祝電披露 演芸(アトラクション) <ul style="list-style-type: none"> ①特別講演 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「災害情報の活用について」 講師 勝丸 恭子 様 (株) ウェザーマップ・NHK広島放送局 気象予報士) ②吹奏楽 <ul style="list-style-type: none"> 片山中学校吹奏楽部 閉会のあいさつ 				
企画・実施した人	呉市第6地区社会福祉協議会と第6地区まちづくり委員会を中心とした地元の各団体が協力して実施しています。				
苦勞した点	新型コロナウイルス感染症対策を講じた開催				
活動状況	<p>●受付の様子。新型コロナウイルス感染症対策を講じて、開催しました。</p>  <p>●302名が来場。片山中学校生徒会も手伝いをしてくれました。</p>  <p>●勝丸さんの特別講演と片山中学校の吹奏楽をお楽しみいただきました。</p> 				
活動の成果	<p>暑さ対策のため、例年であれば開催日を「敬老の日」とするところを10月末に調整したことで、比較的過ごしやすい気候の中で敬老会を実施することができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により人と会う機会が減る中で、2年ぶりに敬老会を開催することができ、参加者の方に大変喜んでいただけたと感じています。</p>				

番号	6	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	木村 公一
事業名	2021 くれ中央 秋のこどもまつり			事業費	約600,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないため、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション等の住民は増えていますが、自治会に加入していない方も多いため、若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、例年は「くれ中央地区夏まつり」を実施していましたが、コロナ感染が拡大しており大規模な開催が難しくなってしまう、こどもが楽しむことが出来るイベントも激減しているため、感染防止対策の徹底をはかり子ども中心のイベントを開催しました。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和3年10月9日（土） 10時～17時</p> <p>場 所：呉市役所西隣の旧駐車場</p> <p>内 容：オープニング ボーイスカウト呉第12団， ガールスカウト広島第6団 音楽隊演奏演技 ガールスカウト ブラウニー演技（呉氏も一緒にダンス） ゲームコーナー スーパーボールすくい， コイン落とし， 三色おみくじ， 消しゴムくじ， スタンプラリー， おもちゃくじ， アンパンマンくじ， うちわくじ抽選会 フリマ・メダカ・お面販売</p> <p>来場者：約1,000名</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに、他の部会と民生委員などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>来場の際入り口での検温・アルコール消毒・マスク着用の徹底を図り、敷地内での飲食を不可とするなど感染予防対策を図りました。</p> <p>コロナ感染状況によって開催できるか不安でしたが、何とか行事が行えてホッとしています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>呉氏Jr.のダンスでオープニング</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>仮装来場者へのプレゼント配布</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>キッズコーナーの風景</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>うちわくじ抽選会の様子</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>参加された子ども達の笑顔が溢れ、団体と地域との連携や、世代間交流、地域の団結にもつながり、開催できて本当に良かったです。</p>				

番号	7	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	宮中 勇
事業名	ふれあいサロン事業			事業費	200千円
事業の目的	高齢者の社会的孤立を解消し、地域住民との交流やふれあい・生きがいを通じて、元気に安心して暮らせる居場所づくりを目的とする。				
事業概要	<p>【内 容】 カラオケ教室 【場 所】 東愛宕自治会集会所 【日 程】 週4回の開催 【R3実績】 4月 13回, 79人 5月 5回, 30人 6月 0回 7月 9回, 60人 8月 9回, 52人 9月 0回 10月 5回, 5人 11月 9回, 51人 12月 10回, 60人</p> <p>※昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染状況に応じた中止有り。また、実施の際には、飛沫拡散防止シートの設置や、アルコール消毒の徹底など、感染拡大防止策を講じた。</p> <p>※令和3年12月末時点のもの</p> <p>【その他】平成25年度からの継続事業</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会が企画立案し、各自治会が受付等の当番を担う。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、開催日数が増加しなかったこと ・当番の担い手の確保 ・参加者数の確保 				
活動状況	  				
活動の成果	昨年度から引き続き、コロナ禍で事業や交流の場が限られる中、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着いた時期については、密とならないよう、感染防止対策をとりながら交流の場としての事業となった。				

番号	8	団体名	ふれあい広場三条の会	代表者	力安 鈴子
事業名	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）			事業費	約300,000円
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、三条商店街の空き店舗をふれあい広場三条の会が借り受け、平成24年9月に開設。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてふれあい広場三条の会のボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>季節毎のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区」にしていきたいと頑張っています。</p> <p>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営されておられます。</p>				
事業概要	<p>場所：呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗 （平成24年9月8日オープン）</p> <p>活動時間：毎週月曜日～土曜日（日曜・祝日は休所日）10時～16時30分</p> <p>面積：（間口）3m×（奥行）12m＝約36㎡（約11坪） 家賃 3万円/月</p> <p>利用料金：無料（お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円（夏季限定）で提供） 誰でも無料で利用できる無料休憩所</p> <p>運営体制：1日3人のボランティアにより運営（合計19人役/週）</p> <p>メンバー：三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など</p> <p>利用実績：最近の利用人員 月平均 500人、一日平均 25人</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会 男性陣は囲碁や将棋の腕試し 放課後と土曜日は、子ども（小学生）の居場所 <p>イベント：4月…お花見会 6月…七夕飾りづくり 7月…夏祭り （例年）10月…ハロウィン 12月…クリスマス会 2月…節分豆まき 3月…震災を忘れないために11コンサート</p> <p>その他、定期的に「うた声広場」、「らくらく体操教室」、「手芸教室」などを開催 ※今年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、イベント等中止・縮小しています。</p>				
企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい広場三条の会 誰でも（特に高齢者）が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名 ふれあい広場を開設するにあたり、「ふれあい広場三条の会」を設立 まちづくり委員会から財政支援（家賃と平成25年度限定で空調やパソコン整備）と人的支援を受けています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響による感染防止対策（3密対策・消毒等） まちづくり委員会との協力体制の構築 常駐するボランティアスタッフの確保（後継者の確保） 自主財源の確保 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>10周年記念</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クリスマス会</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>小さなお祭り</p> </div>				
活動の成果	<p>地域の誰もが自由に立ち寄り、交流できる場を提供する目的として会を立ち上げ、今では、高齢者が、地域の中での人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用し、放課後には子どもたちが集う憩いの場になっています。</p>				

番号	9	団体名	三条地区自主防災会連合会	代表者	山上 文恵
事業名	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練			事業費	約150,000円
事業の目的	<p>毎年、地域住民と小学生と合同で実施することにより、一人ひとりの防災意識を高めると共に、地域住民の絆を強め、共助しやすい街にすることを目的として防災訓練を行っています。</p> <p>急傾斜地を多くかかえるまちだけに、防災をまちづくりの柱の一つに位置づけ、地域のみんで災害時の対応の問題点を洗い出すことで、より多くの命が助かるよう、住民の危機管理意識を育んでいます。</p> <p>昨年度は、平成30年7月に豪雨災害があったことから、自分達が住んでいる地域特有の危険箇所や過去の災害を知ってもらうため、まち歩きを行いました。今年度は、コロナ感染予防を行い、避難時にどのように過ごしていくかなど体験を交え、避難所での訓練を行いました。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和3年6月5日（土） 10時00分～11時30分</p> <p>参加者：両城小学校生徒及び教諭 135名、地域住民 93名、消防団・市役所 4名の計232名</p> <p>内 容：「地震・津波・コロナ禍での防災訓練」</p> <p>地震が発生し、その影響で津波が起こったと想定し小学校に集合しました。また、コロナ禍での訓練ということで、お互い間隔をあげ、密にならないよう訓練を行いました。</p>				
企画・実施した人	三条地区自主防災会連合会				
苦労した点	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止も考慮し、小学生と地域住民の参加時間をずらして行い、過去の災害について写真映像を通しての説明や、避難所に設置してある設備の使用方法についての説明を行って、実際に使用体験も行いました。				
活動状況	 <p style="text-align: center;">防災訓練の様子</p>				
活動の成果	小学校が地域の避難所になっており、コロナ感染が拡大している中、災害時にはどのようにソーシャルディスタンスを保ち避難所生活を過ごしていくかなど、地域に住む住民自身が、地域の防災情報を共有して、災害時には慌てず冷静に素早く安全に避難ができるように考えてもらうことが出来ました。				

番号	10	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区合同防災訓練			事業費	約150,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、その地形の特性から、土砂災害発生の危険性が大きいと考え、毎年、土砂災害等に備える活動に取り組んでいます。</p> <p>今年度は、呉市危機管理課による「避難と警戒レベルについて」の防災講話と、消防局・消防団による「初期消火訓練・煙中体験・救急講習」の幅広い体験を通じて、災害に備える地域住民の意識向上を図る訓練を実施しました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和3年11月23日（火・祝） 9時30分～11時30分</p> <p>場所：二川まちづくりセンター</p> <p>参加者数：約50名</p> <p>内容：(1) 防災講話：呉市危機管理課による防災講話</p> <p>(2) 防災訓練：初期消火訓練（消火器の取り扱いと初期消火） 煙中体験（煙中での避難訓練） 救急講習（心肺蘇生法）</p>				
企画・実施した人	川原石地区自主防災連合会と川原石地区まちづくり委員会が中心となり、呉市危機管理課、西消防署及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦労した点	コロナ過での防災訓練であり、3密対策を徹底するなど感染対策を講じる中で、実際の災害時に即した訓練にするため、どのような内容にするかを関係機関等と綿密に話し合いました。				
活動状況	 <p>防災講話</p>		 <p>初期消火訓練</p>		
	 <p>煙中訓練</p>		 <p>救急講習</p>		
活動の成果	参加者一人ひとりが自分や家族の身を守るための知識や技術を習得するため、真剣に話を聞き、訓練する姿が見られました。				

番号	11	団体名	どんぐりぼーやの絵本会	代表者	藤中 美紀
事業名	絵本の読み聞かせ活動			事業費	約50,000円
事業の目的	吉浦地区の子どもたちに本のすばらしさを伝えること				
事業概要	<p>日時：○吉浦小学校 8:20～ 対象全学年 学年ごとの児童約50人/回 場所 (1年生 5月13日, 2年生 6月10日, 3年生 9月9日 参加者数 4年生10月14日, 5年生 12月9日) ※学年ごとの絵本の読み聞かせとは別に、12月2日に全学年を対象とした朗読劇を行った。約300人参加</p> <p>○みのり幼稚園 10:00～ (園児約25人/回 6月16日, 9月15日) ○認定こども園よしうら 10:00～ (園児約25人/回 7月6日, 11月9日) ○認定こども園だいしん 11:00～ (園児約25人/回 7月6日, 11月9日) ○落走保育園 10:00～ (園児約25人/回 6月1日, 10月26日)</p> <p>内容：平成11年から、どんぐりぼーやの絵本会を主体として、ボランティアで地区内の小学校・幼稚園・保育園等を訪問し絵本の読み聞かせや切り絵を使った朗読劇を行っている。(年間約20回) 朗読劇では、楽器演奏も取り入れ工夫している。</p> <p>参加者延べ人数：小学生 約550人, 園児 約200人 (令和4年1月末時点)</p>				
企画・実施した人	吉浦地区子ども会連合会内のどんぐりぼーやの絵本会 (メンバー約10人)				
苦労した点	絵本会のメンバーの中には仕事をしながら活動している保護者もいるなど、メンバーの確保に苦心している。				
活動状況	 <p>吉浦小学校での様子</p>		 <p>吉浦小学校での様子</p>		
	 <p>みのり幼稚園 絵本の読み聞かせの様子</p>		 <p>絵本の読み聞かせメンバー</p>		
活動の成果	地区内の子どもたちに本のすばらしさを伝えるとともに、次世代を担う子どもの豊かな感性を育むことができた。				

番号	12	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	松田満雄
事業名	吉川英治文学碑記念祭			事業費	約120,000円
事業の目的	吉川英治が「新平家物語」を執筆する際、音戸の瀬戸を訪れたことにちなみ設置された「吉川英治文学碑」の設置日である5月3日にイベントを開催することにより、地域住民並びに音戸の瀬戸来訪者に警固屋地区の重要な文化的、観光的資源について再認識してもらうとともに、広く知名度の向上を図る。				
事業概要	<p>日 時：令和3年5月3日（月・祝）</p> <p>事業内容： (1) 記念式典 (2) 記念碑への献花 (3) 警固屋小中学校読書貯金の表彰・スタンプラリー・写生大会 等</p> <p>参加者数：参加者 150名 運営スタッフ等 30名 合計 180名</p>				
企画・実施した人	警固屋まちづくり協議会				
苦勞した点	コロナ禍で多くの行事が中止となる中、警固屋地区における大型連休中の恒例行事である本イベントを実施するためにコロナ対策（検温・消毒）を徹底するとともに飲食ブースも今年度は中止とした。イベントの規模を縮小しながらも警固屋小中学校PTAの協力もあり実施することができた。				
活動状況	 <p>イベント当日は晴天に恵まれました</p>  <p>記念式典の様子</p>  <p>吉川英治文学碑への献花</p>  <p>写生大会には地区内外の子どもたちに参加いただきました</p>				
活動の成果	イベント中には観光で音戸の瀬戸公園を訪れた観光客も訪れたほか、写生大会では警固屋地区以外の子どもたちも参加されるなど音戸の瀬戸公園並びに吉川英治文学碑の存在を内外にPRすることができた。				

番号	13	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	松田満雄
事業名	農業体験交流事業			事業費	約40,000円
事業の目的	<p>警固屋小学校の1年生の児童を対象に、農作業体験や収穫体験をさせるとともに、焼き芋を焼いて子どもたちに食べてもらうことで、地産地消や食育について学ぶ機会を設ける。</p> <p>また、地域住民にも事業へ参加してもらうことで、子どもたちと地域住民の交流促進を図る。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和3年12月1日（水） 9時～11時00分</p> <p>場 所：警固屋6丁目11番付近の畑</p> <p>参加者数：38名（1年生児童・教諭・まち協役員・農協職員・地域ボランティア）</p> <p>事業内容：</p> <p>（1）野菜の収穫体験</p> <p>（2）焼き芋の試食</p>				
企画・実施した人	<p>警固屋まちづくり協議会 警固屋第11区自治会有志・警固屋小学校</p>				
苦労した点	<p>地域の方々が積極的に参加して運営してくれたため、終始地域の方主導で事業を進めることができました。</p> <p>畑のお世話は、ボランティア精神旺盛な11区自治会有志の方が主になっていただき、警固屋小学校、警固屋まち協の方々から感謝されています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>児童と地域の方々との交流も深まりました</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  <p>野菜の収穫体験</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>美味しい焼き芋</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>子どもたちと地域の方々が一緒になって農作業体験をさせることで、地産地消や食育について学ぶ機会を設けることができた。</p> <p>また、子どもたちと地域住民の交流促進を図ることができた。</p>				

番号	14	団体名	音戸大橋開通60周年還暦記念祭実行委員会	代表者	松田満雄
事業名	音戸大橋開通60周年還暦記念祭			事業費	約1,300,000円
事業の目的	音戸大橋が開通して60周年の節目を迎えるにあたり、警固屋地区と音戸地区が協働して記念事業を開催することにより、音戸大橋の恩恵に感謝するとともに、地域の観光振興並びに地域の活性化に寄与することを目的とする。				
事業概要	<p>日 時：令和3年12月5日（日）</p> <p>事業内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 記念式典 (2) 模擬店 (3) ウォーキング大会 (4) ボンネットバスの運行 <p>参加者数：参加者 約1200名</p>				
企画・実施した人	音戸大橋開通60周年還暦記念祭実行委員会				
苦労した点	コロナ禍で多くの行事が中止となる中、当日はコロナ対策（検温・消毒）を徹底し実施した。当初計画していたステージイベントも中止とするなど、警固屋地区と音戸地区が協働して実行委員会を組織し、イベント内容について頻繁に打合せし連携を図ることができた。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>関係者による記念式典</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>模擬店会場の入り口で検温と消毒を実施</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>天気にも恵まれ多くの方が訪れました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ボンネットバスによる周回ツアー</p> </div> </div>				
活動の成果	地域住民の生活において無くてはならない存在である音戸大橋の恩恵について改めて感謝する機会となった他、警固屋地区・音戸地区両地区の連携を深めることができた。				

番号	15	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第73回 広地区教育祭			事業費	3,400,000円
事業の目的	広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和24年から開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。				
事業概要	例年、11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、教育功労者表彰式、交流広場などを開催するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品展示と歴史講演会・教育功労者表彰式・文化講演会のみ開催。				
企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会 共催：呉市 主管：広地区教育祭実行委員会 後援：呉市教育委員会 ※その他、協力・協賛団体あり				
苦労した点	関係団体との連絡調整、参加者（団体）の事前準備				
活動状況	<p>■教育功労者表彰式 11月23日（火・祝）広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人10名と団体1団体を表彰した。</p>  <p>■児童・生徒の作品展を1階市民ギャラリーで開催した。</p>				
活動の成果	文化講演会は、広島東洋カープ元監督 緒方孝市氏による講演を中学生野球チームや多くの年代の方の参加を得て開催した。 選手の立場・監督の立場として、あらゆる角度から講演していただいたため、年代を超えて思いが伝わったと感じた。 今後は、若い力を取り入れた行事を計画し、広地区に関係する方を中心に多くの魅力を発信できると確信している。				

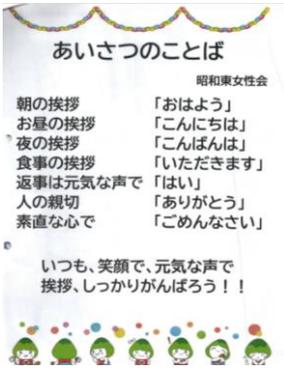
番号	16	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	ひろ「もち」だんらん祭り			事業費	300,000円
事業の目的	日本の伝統文化である餅つきを中心に世代を超えた交流を行うことによって、人と人との繋がりをつくり、後世に伝えることを目的とする。				
事業概要	12月の最後の日曜日に、餅つきやステージ・広まちグルメ・縁日・職人の集まり・キッチンカーなど、広地区を盛り上げてくれるメンバーで開催した。未就学児はもちろんのこと、多世代が楽しめるイベントとして位置づけている。				
企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会（ひろまちdesign factory）				
苦労した点	学生主体で企画をしたため、進捗状況などの調整に苦労した。行政主導にしないように、タイミングを見ながらアドバイスすることにも苦労した。				
活動状況	<p>■ 12月26日（日）にひろまちギャラリー（広交差点入口付近）を中心に、広町の魅力を多くの方に見てもらい、体験してもらった。</p> 				
活動の成果	<p>予想以上に未就学児や小学生が参加してくれた。必然的に保護者の方も参加してくれたため、今後のまちづくりに協力してもらえると感じた。</p> <p>また、新しい取り組みをする上で、「一緒にさせてください。」「できることは協力します。」などの言葉もいただき、来年度以降、より一層広まちの魅力づくりに繋がると感じた。</p> <p>これからは、人と人との繋がりを大切に、広町が中心となり、他ではできないことに取り組んでいけると実感した。</p>				

番号	17	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	宮原ホタルの里開放事業・ホタル育成事業			事業費	188,000円
事業の目的	<p>地域内を流れる神原川のきれいな水を利用し、地域住民によって整備した「宮原ホタルの里」を、ホタルが羽化する6月に一般開放して鑑賞できるようにするため、環境保全など維持管理に努めている。また、子どもたちにも自然環境美化へ関心を導くため、地区内の小学校で育成方法を学びながらホタルの幼虫を育てる取組や、ホタルの里を宮原地区の宝として広くPRするため、「宮原ホタルん」をイメージキャラクターとした広報活動を行っている。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園に隣接する湿地（約600㎡）の整備、神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造、あじさいの植樹などを行うなど、多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成した。その後毎年、地域住民、地元小・中・高校生と連携し行事や清掃、観察会等を実施している。令和3年度は、下記のとおり行事等を実施した。</p> <p>5月31日 ホタルの里清掃活動 6月5日～20日 ホタルの里観賞会（金・土・日開催）来場者数398人 （6月5日 観賞会オープニングセレモニー 来場者数115人） 6月30日 あじさい剪定</p> <p>また、平成29年度に誕生したご当地キャラ「宮原ホタルん」を活用しホタルの里をPRするため、着ぐるみを着てイベントに参加したり、グッズを作成して地域に配布したほか、坪内・宮原両小学校、まちづくりセンター等でホタルの幼虫を育て、育てた幼虫をホタルの里に放流する取組などを行っている。</p>				
企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会が中心となって、自治会連合会等の地元団体や地元小中学校などの協力を得て行った。 引き続き地元の住民や小中学生の協力を得ながら管理運営を行う。</p>				
苦労した点	<p>宮原の「宝」としてホタルの里を伝承していくためにも後継者育成が急務とされているが、若い世代の担い手不足で思うように進んでいない。 宮原地区以外の方にもホタルの里の存在や活動をもっと知ってもらう必要がある。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホタルの里清掃活動</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>あじさい剪定</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホタルの里観賞会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホタル育成事業</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>学校との連携も深まり、宮原地区に住む子どもからお年寄りまで幅広く活動が周知され、定着しつつある。</p>				

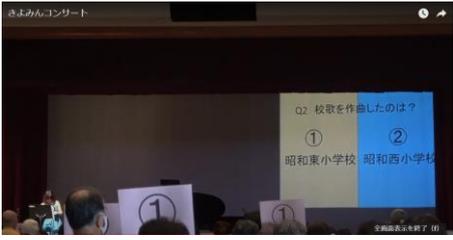
番号	18	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	みんなで防災を考える集いin宮原2021			事業費	192,000円
事業の目的	近年、毎年のように甚大な被害を及ぼす激甚災害が国内各地で起こっている。こうした中、多くの住民がいざという時に「自分の命は自分で守る」ための防災知識を学ぶことによって、それぞれの防災意識を高めることを目的とする。				
事業概要	<p>日時：令和3年11月28日（日）9：00～14：30 場所：呉市立宮原中学校体育館 参加人数：約230人 内容：</p> <p>(1) 専門講師による講演 第1回 安全な非難のために備えること 第2回 災害に備える「防災脳」を活性化！</p> <p>(2) 宮原中学校による研究発表 中1「宮原地区と水」 中2「自宅で避難指示が出たら」</p> <p>(3) 坪内・宮原小学校による防災学習成果展示・ビデオ映写</p> <p>(4) 自主防災リーダーによる地区災害の歴史、防災備蓄品、土砂災害マップ、避難行動についてのアンケート調査結果等の展示・紹介</p>				
企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会、宮原地区自主防災リーダー、宮原中1・2年生、坪内・宮原小4年生				
苦労した点	感染症対策のため、参加人数を制限し、さらに、午前と午後の2回に分けて実施せざるを得なかった。 住民の防災意識が不十分と考える自主防災会が多く、また、防災会自体の取組にも温度差があり、行事参加の呼びかけに苦労した。				
活動状況	 <p>講演の様子</p>  <p>中学生の研究発表</p>  <p>小学生による学習成果の展示</p>  <p>避難行動の実習</p>				
活動の成果	さまざまな世代が集い、防災に関する意見や学習成果を披露し合うことにより、防災意識をより高めることができた。				

番号	19	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	地域人材活用事業			事業費	497,200円
事業の目的	地域の新たな担い手として期待される「まちづくりサポーター」が、自主的そして積極的にまちづくり活動を行えるように支援し、また、「ふれあい集会所」をまちづくりの拠点とするために必要な改修を行う。				
事業概要	<p>実施時期：令和3年10月</p> <p>天応ふれあい集会所 外壁改修工事 天応ふれあい集会所 オーニング設置工事</p>				
企画・実施した人	天応まちづくり委員会の四役会議で企画立案し、あらたにまちづくり委員会のメンバーに加わった「まちづくりサポーター」と協働し事業を行った。				
苦労した点	既存の建物に設置するため、安全性を確保するのに想定以上の経費を要した。				
活動状況					
	オーニング全景				
					
	竹ぼっくり作りと子供消火体験		火起こしと炊飯体験		
活動の成果	オーニングを設置することにより、小雨や日差しを凌げるため、手狭な「ふれあい集会所」を室外と一体的に活用することができるようになり、まちづくりの拠点である「ふれあい集会所」でのまちづくりサポーターや地域活動団体の行う各種イベントの開催が増え、天応町民に癒やしと活気を与えることができた。				

番号	20	団体名	昭和地区青少年補導員連絡協議会	代表者	原俊三郎
事業名	青少年健全育成・非行防止標語普及事業			事業費	240,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に募集した青少年の健全育成・非行防止標語の昭和地区内への普及促進 昭和地区青少年補導員連絡協議会の活動のアピール 				
事業概要	<p>令和3年8月から9月にかけて募集した青少年の健全育成・非行防止標語のうち、14の受賞作を名刺大のステッカー（カラー・きよみんイラスト入り）にして、昭和地区の全世帯（1枚ずつ）及び青少年の健全育成にかかわりのある学校・交番などに配布した。作成枚数12,000枚、令和3年12月の自治会便で配布した。</p>				
企画・実施した人	昭和地区青少年補導員連絡協議会				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> 今までは受賞作品をポスターにして掲示していただけだったが、標語がもっと地域に浸透する方法を考察しシールステッカー作成を行うこととした。 経費を予算内に収めること。 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>シールステッカー</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>シールステッカーアップ</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>補連協役員</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>子どもたちへの声掛けも行っています</p> </div> </div> <p>地域広報誌「きよみん通信」に受賞作品と作者名を掲載</p>				
活動の成果	<p>標語を地域に浸透させることで、青少年の非行防止について、地域に広く啓発を行うことができる。</p>				

番号	21	団体名	昭和東女性会	代表者	田北 貴子
事業名	挨拶運動			事業費	50,000円
事業の目的	人生の基本の挨拶の大切さ・継続の大切さを伝える				
事業概要	<p>日程：令和3年9月1日（水） 場所：昭和中央小学校 9月1日（水） 場所：昭和南小学校 9月3日（金） 場所：昭和北小学校 9月3日（金） 場所：昭和西小学校</p> <p>昭和地区の4小学校を訪問し、1年生を対象に挨拶の基礎基本の大切さを伝える。例年は体育館において1年生全員を前に行っていたが、コロナ対策のためクラスごとに代表者を1人選出してもらい校長室などで実施した。記念としてラミネートした”挨拶ことば”に昭和地区キャラクター「きよみん」の缶バッジと消しゴムを添えてクラスごと全員分を代表者に手渡し啓発を行った。</p>				
企画・実施した人	昭和東女性会				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> 昭和東女性会から代表者に伝え、代表者がクラスメートに伝えるという形式をとったため、1年生の代表者が無理なく役目を果たせるように説明を工夫したこと。 子供でも”あいさつことば”を覚えやすくするための工夫をしたこと。 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  <p>昭和中央小学校</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昭和南小学校</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>あいさつことば</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  <p>昭和北小学校</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昭和西小学校</p> </div> </div>				
活動の成果	実施時の対象は少人数ではあったが、子どもたちの納得感を感じることができた。				

番号	22	団体名	昭和西女性会	代表者	奥先 楓
事業名	クリスマスコンサート			事業費	300,000円
事業の目的	<p>コロナ禍で誰もが耐え忍ぶ日々を余儀なくされています。ワクワクドキドキするような音楽を聴いてみんなの心が元気になればと思い演奏会を企画した。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和3年12月4日(土) 13時30分～15時 場 所：昭和まちづくりセンター3階ホール</p> <p>アイリッシュ音楽をメインにしているバンド“FISH & CHIPS”にソプラノ歌手増田由香さんを交えてのコンサート。</p>				
企画・実施した人	呉市昭和西女性会				
苦労した点	<p>新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、入場制限を行いできるだけ多くの方々に来場いただけるようイス配置等を検討した。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>FISH & CHIPS + 増田由香 満員の観客</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>FISH & CHIPS + 増田由香</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>FISH & CHIPS の演奏</p> </div>				
活動の成果	<p>昭和地区でなかなか触れることがなかった激しいアイリッシュ音楽に圧倒されたり、美しいソプラノに心が癒されたりと皆さん充実した時間を過ごされたようです。</p>				

番号	23	団体名	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	きよみんコンサート			事業費	340,000円
事業の目的	<p>コロナ禍において自粛・縮小状況となっている地域の季節イベントについて、まちづくり活動を継続的に支援する視点から、ウイルスの感染防止対策をセットで実施した上で事業に取り組む。</p> <p>子供も入場可とし気軽に楽しめる音楽コンサートを通じて、地元にいながら気楽に、しかも本格的な演奏を聴くことができる場を昭和地区住民に提供することを目的にイベントを企画した。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和3年12月5日(日) 13時30分～15時30分 場 所：昭和まちづくりセンター3階ホール</p> <p>第1部は昭和地区出身の音楽家藤井清水のミニ音楽祭。第2部はオペラの世界を楽しむコーナー。</p> <p>今回のコンサートは特別編として、平成28年に廃校になった旧昭和東小学校に設置の、ほとんど使われないことのないグランドピアノを昭和まちづくりセンターに運び入れ、ピアノ2台にフルートとソプラノを加えた編成のコンサートとなった。</p>				
企画・実施した人	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会				
苦労した点	感染症対策として舞台袖に控えるスタッフを極力削減し、演奏者にも機材を運んでもらうなど、開催中もスタッフ一人一人に協力をいただいた。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>友情出演 呉市藤井清水の会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>藤井清水クイズコーナー</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>オペラ カルメン組曲より</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>出演者全員による呉小唄</p> </div> </div>				
活動の成果	見込みより多くの方（140人）にお越しいただいた。アンケートを取ったところ、このようなイベントが昭和地区で催されることに期待する意見が多かった。今後も様々なアイデアを取り入れて進化させ、幅広い年齢層に楽しんでいただけるコンサートを企画していきたい。				

番号	24	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	150,000円
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>平成21年度より70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。 時間：10時～12時（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、時間を短縮） 内容：今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からサロンの歌、今月の歌、各種趣味講座等は中止として、健康体操やお誕生日会など感染対策を取った上で実施し、ステージイベント等を楽しんだ。 特徴：地元の団体と連携し実施。 医療機関や警察・交通安全協会等の協力により講演会や生活安全指導を実施。 参加者は、現在150人（うち協力員50人）が参加する市内最大のサロンとして毎月のサロンを継続している。</p>				
企画・実施した人	サロン運営委員会（地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織）				
苦労した点	各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。 コロナ渦でサロンを開催する事ができない月があり、運営会議を行えない中で、参加者や出演者への急な中止の連絡やイベントの組み替えなどを、決定し実施していくことに各協力員が苦慮した。				
活動状況	 <p>ステージイベント</p>		 <p>レクリエーション</p>		
	 <p>交通安全教室</p>		 <p>健康教室</p>		
活動の成果	郷原全地区の方々が対象となっているこのサロンは、近所の方との交流のみにとどまらず、日頃会話をすることのない人たちと交流を深めることができ、おたがいが理解しあい、楽しく、時には体を動かし、生きがいを感じることができる憩いの場となっている。また、コロナ渦で人々が集まる事が出来なくなっているなかで、数少ない郷原地区の交流の場として、貴重な時間を過ごしている。				

番号	25	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町花火大会			事業費	840,000円
事業の目的	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、様々なイベントが中止となる中で、昨年度「郷原町花火大会」が実施された。今年度も、隔年で行われている「町民運動会」と「町民盆踊り大会」が中止となり、昨年好評であった花火大会を新型コロナウイルス感染予防の方針に沿って行った。小・中学校PTAに交通整理や警備などを協力してもらい、昨年度以上の盛り上がりで、子どもたちに貴重な夏の思い出となった。</p>				
事業概要	<p>昨年度に続き2回目の花火大会を開催。 日時：令和3年8月7日（土） 20時～ 打ち上げ場所：黒瀬川河川防災ステーション周辺 内容：仕掛け花火や、大小合わせて約180発の花火が上がり、郷原町の夜空を彩り、郷原名物の城山を照らした。</p>				
企画・実施した人	<p>郷原町まちづくり推進委員会 郷原小学校・中学校 PTA等</p>				
苦労した点	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来場者の感染防止対策や交通安全対策などに配慮が必要とされた。また、駐車場の確保や花火の打ち上げ場所の調整などに苦慮した。</p>				
活動状況					
活動の成果	<p>昨年度と同様に、さまざまなイベントが中止となり、花火大会を開催することにより、子どもたちにとっての貴重な夏の思い出と、郷原町に「絆」と「活力」を取り戻すことができた。</p>				

番号	26	団体名	下蒲刈地区交通安全推進協議会	代表者	吉川 宏夫
事業名	交通安全テント村及び交通安全キャンペーン			事業費	7,1274円
事業の目的	春と秋の全国交通安全運動期間中に交通安全推進委員による交通安全テント村の運営と、秋の運動期間中は下蒲刈保育所児童による交通安全キャンペーンを行い、交通安全の啓発活動を行っている。				
事業概要	春の交通安全テント村 日時：令和3年4月7日（水）7時～8時 場所：下蒲刈町見戸代交差点 秋の交通安全テント村 日時：令和3年9月24日（金）7時～8時 場所：下蒲刈町見戸代交差点 交通安全キャンペーン 日時：令和3年9月24日（金）9時～9時30分 場所：大津泊庭園駐車場				
企画・実施した人	下蒲刈地区交通安全推進協議会				
苦労した点	新型コロナウイルス対策としてマスク着用での対応となり、暑さと息苦しさに苦慮した。また、密にならないようお互いに間隔を開けることに気を付けた。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">交通安全テント村（見戸代交差点）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">交通安全キャンペーン（大津泊庭園駐車場）</p>				
活動の成果	活動を通じて、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけることができた。				

番号	27	団体名	下蒲刈地区自治会連合会	代表者	原田 敏信
事業名	令和3年度呉市下蒲刈地区成人式			事業費	92,449円
事業の目的	地域をあげて新成人を祝福するとともに、新成人自身の地域を担う自負と地域社会の一員としての自覚を促すため、式典及び茶会を開催する。				
事業概要	日時：令和4年1月9日（日）13時20分～14時30分 会場：蘭島閣美術館（式典），白雪楼（茶会） 内容：式典（はたちの誓い，近況報告） 記念写真撮影（新成人及び主催者・来賓） 茶会（新成人・恩師）				
企画・実施した人	下蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点	開催直前にまん延防止重点措置となり，会場である蘭島閣美術館が開催当日から臨時休館となる旨の通知があり，文化振興課及び蘭島文化振興財団と協議し，会場の確保に苦慮した。また，新型コロナウイルス感染防止対策として来賓の人数の調整，密接の防止を行い，こまめな消毒作業に手間を取られた。				
活動状況					
	受付		式典		
					
	記念写真撮影		茶会（白雪楼）		
活動の成果	コロナ禍で制約の多い中，来賓並びに恩師にも式典に出席いただき，新成人の新たな門出を祝うことができた。				

番号	28	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村 誠二
事業名	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク			事業費	14,000円
事業の目的	平成25年度に「“かわじり”の新しいMAPを作ろう!!プロジェクト」で作成した「いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAP」のコースを歩くことによって、人と人がふれあう元気なまちづくりを目指す。(年2回程度)				
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <p>6月 13日(日) 9時～12時 歴史と潮の香り漂うコースを歩こう 6km 参加者：26名</p> <p>10月 10日(日) 9時～11時30分 川尻おどろきロードコースを歩こう 5km 参加者：22名</p>				
企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 川尻地区自治会連合会, 川尻町運動普及推進員会, 川尻町保健出張所				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	    				
活動の成果	<p>毎年、多くの中学生ボランティアの参加があるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、不参加となった。</p> <p>6月には新原呉市長にも参加いただき、運動普及推進員会のメンバーや町内外からの参加者と共に、地域の歴史・文化に触れることができた。</p>				

番号	29	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村 誠二
事業名	令和3年度 川尻町新成人を祝う会			事業費	251,000円
事業の目的	<p>新成人が企画・運営を担い始めて12年目となる「実行委員会」の活動は、地域全体で祝う「新成人を祝う会」の開催に向けて、中学生から地域の方々まで世代を超えて開催を支えている。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】 ①懇親会の企画立案 ②当日運営（新成人受付・式典司会・懇親会の司会運営）</p>				
事業概要	<p>【実行委員会】</p> <p>第1回 8月16日（月） 昨年度の祝う会の様子、今後のスケジュール 第2回 11月22日（月） 企画書の説明、役割分担 準備 1月7日（金） 式典・懇親会会場準備</p> <p>【当日】</p> <p>1月9日（日）</p> <p>9時30分～ 打合せ・受付準備（事務局・実行委員・女性会） 10時00分～ 受付（実行委員・女性会） 10時30分～ 記念撮影 10時50分～ 式典{主催者挨拶，来賓挨拶，はたちの誓い} 11時10分～ 懇親会{恩師エピソード紹介，抽選会} 12時00分～ 後片付け（事務局・実行委員・女性会）</p>				
企画・実施した人	実行委員（前年度成人者・新成人者・次年度成人者・新成人保護者・地区社協代表者・市民センター担当者）				
苦労した点	実行委員会は新成人の内、中学校当時の生徒会役員を中心に活動を行うが、学生等で市外在住者が多いため、実行委員会結成にあたっての連絡や祝う会の企画・準備の調整に時間を要した。				
活動状況	   				
活動の成果	「新成人を祝う会」の企画立案や当日の準備・運営に次年度新成人対象者が関わることで、次年度の実行委員会の活動に繋げていくことができた。				

番号	30	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	音戸ふれあい朝市			事業費	500,000円
事業の目的	住民同士のふれあいや、三世代が楽しく交流できる場を提供するとともに、町内のにぎわいづくりと地域活性化、地産地消による食の推進を図るため、平成20年10月に第1回目を開催し、以降毎月1回、原則第1土曜日にふれあい広場（旧音戸町役場跡地）で開催している。				
事業概要	<p>日時：原則毎月第1土曜日 10時～12時頃 場所：ふれあい広場（旧音戸町役場跡地） 内容：新鮮野菜や、タコ天、炊き込みご飯、細うどんなどの販売の他、プロ野球観戦券などが当たるお楽しみ抽選会や、保育園園児や小中学校生徒による歌や踊りの披露なども実施している。</p> <p>近年では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止を余儀なくされることが多い。</p>				
企画・実施した人	音戸町まちづくり協議会				
苦労した点	<p>感染防止対策のための作業（パテーション、クリアカーテン、消毒液スタンド、検温器などの設置及び撤収など）や、会場入り口への検温スタッフの配置が追加され、スタッフの負担が増加。 当まちづくり協議会独自でイベント等開催基準を提案、運用を開始した。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>会場内</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>お楽しみ抽選会</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地元産野菜販売</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>きらきら音戸保育園園児によるミニイベント</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月・5月・11月・1月の4回の開催に留まっている。（2月・3月は未定） 1月にはきらきら音戸保育園園児のミニイベントもあり、多くの来場者があり賑わいを得た。</p>				

番号	31	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ養成事業			事業費	60,000円
事業の目的	倉橋町の史跡や名所のガイドができる子供ガイドの育成を図る。				
事業概要	<p>日 時：令和3年7月12日 9時30分～12時30分</p> <p>参加者：くらはし観光ボランティアガイドの会会員3名，倉橋中学校1年生12名，担当教員2名，新聞テレビ関係者1名，計18名</p> <p>内 容：今年くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブに入会した倉橋中学校1年生12名が，ガイド研修として，日本遺産の文化財である「亀ヶ首 試射場跡」に船で上陸し講師（ボランティアガイドの会会員）から遺産についての説明を受けた。また海上から倉橋島の景観を体感し，歴史や文化，産業を習得した。</p>				
企画・実施した人	くらはし観光ボランティアガイドの会，倉橋中学校				
苦勞した点	特になし				
活動状況	 <p>講師から説明を受ける</p>				
活動の成果	<p>①子供ガイドとしての技能や心得を習得した。</p> <p>②郷土に関心を持つきっかけとなった。</p>				

番号	32	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 (お宝朝市部会)	代表者	中田 正志
事業名	くらはしお宝朝市			事業費	120,000円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめとする倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興を図るとともに倉橋町の活性化を目的とする。				
事業概要	<p>日時：毎月最終日曜日 8時30分～11時頃 場所：倉橋桂浜温泉館万葉の里駐車場 内容：①地元特産品等の販売 野菜・果物・鮮魚・ちりめん・牡蠣・コーヒー・パン・焼いも等 ②お楽しみイベント お買い物スタンプラリー（毎月） かけそうめん無料サービス（6，7月） とん汁無料サービス（4，11月） ぜんざい無料サービス（12月） スイカ割り（7月） スーパーボールすくい（7月） 輪投げ（11月） ヨーヨー釣り（11，12月） 石地みかんの無料配布（11月，12周年記念イベント） 紅白もちの無料配布（12月，年末イベント）</p> <p>※5月，8月，9月，1月は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。</p>				
企画・実施した人	漁協，商工会等の団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し，市職員が協働で実施する。				
苦勞した点	①集客方法 ②新型コロナウイルス感染症対策				
活動状況	<p style="text-align: center;">会場内の様子</p>    				
活動の成果	倉橋町の特産物を，町内外へPRできた。				

番号	33	団体名	蒲刈地区自治会連合会	代表者	梶本 良金
事業名	令和3年度蒲刈地区成人式			事業費	約192,846円
事業の目的	蒲刈地区の新成を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝福し励ます。				
事業概要	<p>日時 令和4年1月9日(日) 10時～</p> <p>場所 蒲刈市民センター2階大会議室</p> <p>式典 開式の辞, 国歌斉唱, 主催者挨拶, 来賓祝辞, 二十歳の誓, 記念品贈呈, 呉市歌斉唱</p> <p>記念講演 講師 元蒲刈小学校校長 西村 宣枝 演題 「咲顔で輝くために」</p> <p>記念撮影</p> <p>記念植樹 県民の浜で記念碑を設置し河津桜を植栽した。</p> <p>参加人数 新成人7名</p>				
企画・実施した人	蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点	コロナ蔓延防止措置が発令されている中、昨年と同様に検温、消毒など感染対策を徹底し時間を短縮して行った。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>市民センター玄関先</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>国歌斉唱</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>記念撮影</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>記念植樹</p> </div> </div>				
活動の成果	コロナ過の中でも開催できたことに、参加者は感激の声をあげており、有意義な時間になった。				

番号	34	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	81,000円
事業の目的	豊浜町の食材を使った伝統的な料理を若い世代に継承していく。また、漁業学習の一環として、町内産の海産物を利用して地元の方の指導による、豊浜の味を学んでいく。				
事業概要	<p>豊浜町の特産品の鯛，テングサなどを利用し，若い世代に豊浜町の味を知ってもらうことで豊浜町の良さを再確認する。 開催日：令和3年7月14日（水）参加人数：14名（豊浜中1年生）</p> <p>豊浜町の伝統的料理を次の世代に継承していくため，地元住民の協力でうずら豆のバラ寿司，ひじき煮，レモン風味のいも煮などを料理し，味噌汁をお椀に入れる時に使う「湯桶」を使いながら伝統的料理を学び味などの伝統を守っていく。 開催日：令和3年12月10日（金）参加人数：10名（豊浜中2年生）</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会 ワーキンググループ 豊浜町地域住民 地域おこし協力隊				
苦労した点	時期によっては魚がとれない場合があり，教える料理が限られてくる。				
活動状況	<p>漁業学習会（鯛のさばき方） </p> <p>（魚についての意見交換） </p> <p>伝統的料理教室 </p> <p>（味噌汁の道具） </p>				
活動の成果	魚をさばくのが初めて学生もおおり，良い経験ができた。 豊浜町の伝統的料理を次の世代に継承する事ができた。				

番号	35	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	魔法のランプ事業			事業費	75,000円
事業の目的	子どもたちにスポーツや音楽に興味を持ってもらうため、プロ等によるスポーツ教室や音楽コンサートを開催することで、元気な島っ子を育てていきます。				
事業概要	<p>子どもたちには、プロ等の活躍を生で見たり、指導を受けることがありません。スポーツや音楽の素晴らしさをじかに触れてもらい興味を持ってもらうため、プロ等の活躍、指導を受けることで技術の向上を図り一段上の世界を体験してもらいます。</p> <p>テニス教室 開催日：令和3年8月2日（月） 参加者 23名 開催日：令和3年8月4日（水） 参加者 36名</p> <p>テニス大会 開催日：令和3年9月25日（土） 参加者：23名</p> <p>キラキラコンサート 開催日：令和3年11月11日（木） 参加者：31名</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会				
苦勞した点	コロナウィルスの影響で開催か中止かの決断に困った。 豊浜中学校と蒲刈中学校と指導員の日程調整に苦勞した。				
活動状況	<p>テニス教室</p>   <p>テニス大会</p>  <p>キラキラコンサート</p> 				
活動の成果	テニス教室で指導を受け、テニス大会を開催することで、技術の向上にもなり活気が出た。				

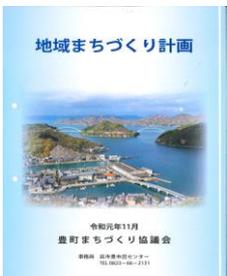
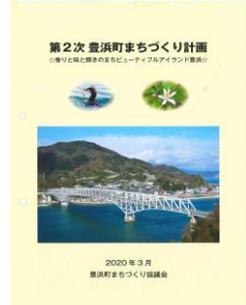
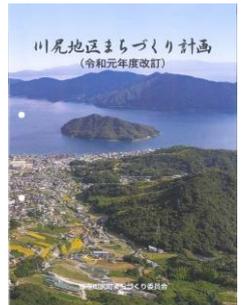
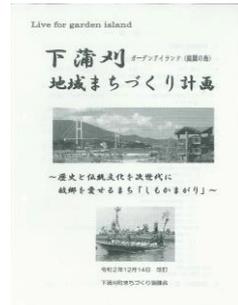
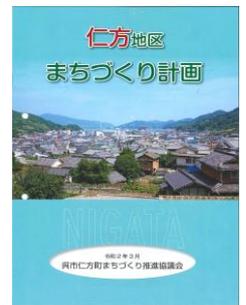
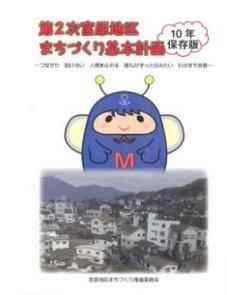
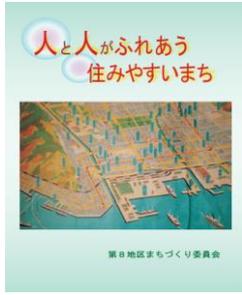
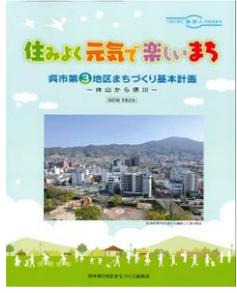
番号	36	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	農業・漁業体験事業			事業費	81,000円
事業の目的	魚のさばき方教室などの漁業体験，管理されていない農地をボランティアにより収穫する農業体験を行い，豊浜町の産業を知ってもらい交流などを行います。また，次の世代に豊浜町の漁業を知ってもらうために学習会を行います。				
事業概要	<p>漁業体験事業の魚さばき方教室は，豊浜産の鯛・サザエを地元の方の指導でさばいて試食する事業です。 開催日：令和3年10月10日（日） 参加人数：8名 メニュー：鯛，サザエの刺身</p> <p>農業体験事業の柑橘収穫ボランティアは，収穫することのできない農地のみかんをすべて収穫することで，来年も収穫できる農地を守る事業です。 開催日：令和3年12月4日（土） 参加人数：19名</p> <p>次世代に漁業の町豊浜を地元漁師などに「アビ漁」「太刀魚釣り」「鯛釣り」の講習会，鯛釣りの疑似餌「毛糸針」の作成などの漁業学習会を開催した。 開催日：令和3年8月26日（木） 参加人数：13名（豊浜中1年生）</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会 水産担当職員 豊浜町地域住民 地域おこし協力隊				
苦労した点	管理していない畑なので草刈りなどの最低限の維持管理をすること。 魚さばき方教室は，時期により魚の確保が難しいこと。 漁業学習会では，実際に漁船に乗り一本釣りの映像を撮ること。				
活動状況	魚さばき方教室 		柑橘収穫ボランティア事業 		
	漁業学習会 		疑似餌（毛糸針）作り 		
活動の成果	魚のさばき方教室では，サザエをさばくのは初めての方もおり，サザエを殻から出すのに苦労した。地元の方との交流もでき，豊浜の味のPRができた。 柑橘農家支援ボランティアには毎年参加される方もいて，豊浜町のミカン農園の大変さを感じてもらえることができた。 漁業学習会は「あび漁」「一本釣り」など学べてためになった。また，鯛釣り用の毛糸針を作るのが楽しくて良かったとの声があった。				

番号	37	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちよっとてご助成事業			事業費	37,000円
事業の目的	<p>地元高齢者が広島国際大学とコミュニケーションを持つことで、自分自身の健康状態を把握し、健康に関する意識を高め、いきいきと暮らしていける生活を送ることを目的とします。</p>				
事業概要	<p>広島国際大学による健康チェック、健康講座、健康体操を行い地元サロンの方との交流を行い元気なまちづくりに取り組みます。また、午前中にみかん収穫体験を実施し、豊浜町の自然を満喫した。</p> <p>第10回瀬戸内イキイキプロジェクト 開催日：令和3年12月26日（日） 参加人数：町内サロン12名、広島国際大学12名 健康講座：サルコペニア予防について</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会 豊浜町地域おこし協力隊 豊浜町各サロン 広島国際大学</p>				
苦労した点	<p>当日は、町内でも雪が降り寒い一日で、予定していた人数の半数しか集まらなかったこと。</p>				
活動状況	<p>第10回瀬戸内イキイキプロジェクト (みかん収穫体験) (健康診断)</p>   <p>(健康学習) (健康体操)</p>  				
活動の成果	<p>コロナウィルスも減少しているなかで、できる範囲での学習会を広島国際大学の協力により実現した。サロンの方も楽しい一日が過ごせたそうです。</p>				

番号	38	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	豊町サプライズ花火（豊町七夕納涼祭代替事業）			事業費	1,680,000円 （負担金）
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「地域まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、海上花火大会を実施する。例年は「七夕納涼祭」として他地域から多くの観覧客を受け入れていたが、コロナ禍の今年度は、人流抑制の観点から町民のみを対象とする事業とした。				
事業概要	日時：令和3年8月7日（土） 20時～20時15分 会場：豊町大長 JA広島ゆたか大長選果場沖 海上 内容：場所を伏せ、日時のみ町民に限り告知することによる、サプライズ花火 実施方法：海上に設置した煙火機より打ち上げ 打上数量：638発 動員数：500人				
企画・実施した人	主催：豊町七夕納涼祭実行委員会/豊町地区社会福祉協議会/豊町まちづくり協議会 企画・運営：商工会青年部豊地区・呉広域商工会				
苦労した点	豊地区外への大会開催の情報漏洩と当日の気象条件に注意を払った。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>サプライズ花火を案内するチラシ</p> </div> <div style="width: 50%;">     </div> </div>				
活動の成果	コロナ禍で景況が悪化し、各種企画は軒並み中止となっている豊地区の人々の閉塞感を、花火により元気づけるとともに、悪疫退散を祈念することができた。				

番号	39	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	豊町成人式			事業費	141,525円
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「地域まちづくり計画」の振興方針「人々の心がふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて地域の新成人の門出を祝う。				
事業概要	<p>日時：令和3年8月15日（日） 10時～</p> <p>会場：豊まちづくりセンター 堀ばたホール</p> <p>内容：1. 式典（開式の辞，国歌・市歌斉唱，成人者紹介，式辞，来賓祝辞，記念品贈呈，答辞，閉式の辞）</p> <p>2. アトラクション（巻きわら謝礼）</p> <p>3. 記念講演 講師：山本千帆里（ラジオパーソナリティ/司会者）</p> <p>4. 記念撮影</p>				
企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会，豊町まちづくり協議会，豊市民センターが中心となり，豊まちづくりセンターの協力のもと開催した。				
苦労した点	昨年度に続きコロナ禍ということで，感染拡大防止対策に細心の注意を払ったこと。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>10名の新成人紹介</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>来賓祝辞</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>答 辞</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>巻きわら謝礼</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>記念講演</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>記念撮影</p> </div> </div>				
活動の成果	地域成人式を開催することで，地域の新成人の門出を祝い励ますとともに，地域コミュニティの充実を図ることができた。				

(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像、地域課題の克服等）の実現に向け、おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で、地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。
この計画に基づき、地域自らが主体となったまちづくりが進められています。



ゆめづくり事例集2021

発行：令和4(2022)年2月

編集：呉市市民部地域協働課
各市民センター

